

2010年1月8日

世界のこども日本語ネットワーク推進事業 第3回「日本児童海外体験プログラム」 第3回「海外児童日本体験プログラム」 国内参加校 応募受付開始

財団法人 博報児童教育振興会(所在地:東京都港区 理事長:近藤道生)は、「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」の一環である「日本児童海外体験プログラム」および「海外児童日本体験プログラム」の第3回実施に向けて、国内参加校の応募受付を開始致しました。

◆ 各プログラム概要

「日本児童海外体験プログラム」「海外児童日本体験プログラム」は、2009年10月末に実施致しました「海外教師日本研修プログラム」で来日した教師が所属する学校の生徒と日本の生徒との交流プログラムです。様々な交流や体験を通して、互いの生活習慣や文化の多様性を理解し、認め合い、豊かな国際人として成長する機会提供を目的としています。また、この交流によって、日本の生徒は日本語・日本文化を見つめ直し、海外の生徒は日本への興味・関心を深めることを期待しています。

◆ 応募資格

- ・ 日本国内の中等教育機関であること
- ・ 財団の指定するプログラムの企画・実施・参加が可能であること
- ・ 所属する教育機関長(学校長)から、本プログラムへの参加承諾を得られること
- ・ 本プログラム参加に当って、必要となる許可を国・行政機関等から得られること
- ・ 本プログラムの映像記録ならびに成果物を、DVDやホームページ上で開示することにご了解いただけること

◆ プログラム内容

- 日本児童海外体験プログラム
テーマ討論(*)の他、海外校訪問、文化体験、名所・旧跡見学など
- 海外児童日本体験プログラム
テーマ討論(*)、学校受入、林間学校型交流イベント、フォーラム(仮)など

* 討論のテーマは共通。日本児童海外体験プログラム時に意見交換した内容を、海外児童日本体験プログラム時に再度話し合っ、更に深め、集大成し、フォーラム(仮)で発表予定

◆ スケジュール

- 応募受付期間: 2010年1月8日～2010年2月5日
- 結果通知: 2010年3月 (予定)
- 実施期間: 2010年6月～2010年8月の間で1週間程度 <日本児童海外体験プログラム>
2010年9月11日～2010年9月21日 <海外児童日本体験プログラム>

◆ 助成内容

- 日本児童海外体験プログラム
海外派遣に関わる実費一切(但し、財団の設定する上限金額範囲内)
- 海外児童日本体験プログラム
交通費や昼食など、プログラム実施・参加で発生する費用を全額実費負担

◆ 参加予定国

- インド、インドネシア、スリランカ、タイ、トルコ、ハンガリー、ベトナム、マレーシア、モンゴル、ルーマニア、ロシアの11ヶ国
- ※ 但し、日本児童海外体験プログラムでの訪問国はこの中の1～2ヶ国

- ◇ 詳細につきましては、当財団ホームページまたは当事業ホームページにてご確認ください。
今回はホームページでのみの募集となりますので、応募要項ならびに申請書は両ホームページからダウンロードいただけますようお願い致します。

“HGN”(当事業ホームページ) <http://www.hgnet.jp/>

当財団ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/globalnet/index.html>

(財)博報児童教育振興会は、次代を担う児童の豊かな人間性の育成を支援することを目的として、文部省(当時)認可の財団法人として1970年に設立されました。

当財団では、児童教育の要は「ことばの教育」にあると考え、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」、「児童教育実践についての研究助成事業」、「日本語海外研究者招聘事業」、「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」など、「ことば」「文化」「教育」の領域を中心に児童教育支援につながる活動をしています。

また、これらの事業から生まれた成果を広めるために、イベントの実施や、通信誌の発刊などの広報活動をしています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/> ◇

■本件に関するお問い合わせ先:

財団法人 博報児童教育振興会

担当 谷 / 内海

TEL: 03-5570-5008 / FAX: 03-5570-5016

E-mail: hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp

(別紙) 「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」について

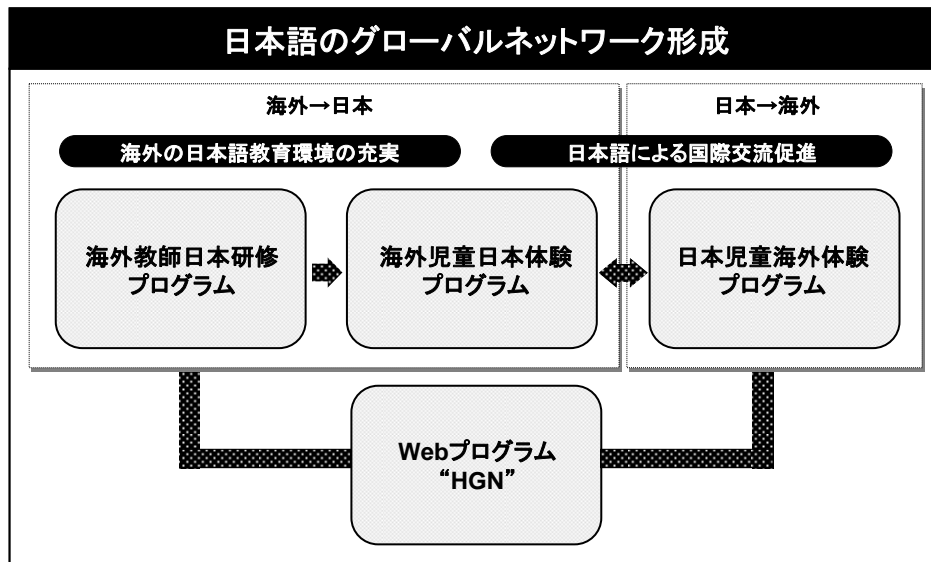
2007年3月、国際化が進む昨今において、日本の児童・生徒が日本のことばと文化の的確な理解に根ざし、更に健全な国際人へと成長することを支援するため、日本の児童・生徒の異文化体験と、日本語を学ぶ海外の児童・生徒の日本体験を核とした「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」を開始致しました。

◆ 事業目的

- ・ 国内外の児童・生徒が、日本語による国際交流を行うことを通じて、日本のことばと文化を理解・再認識し、健全な国際人として成長することに寄与する。
- ・ 海外の学校教育における日本語授業の活性化や授業環境の向上を図り、日本のことばと文化への理解・関心を促進する。
- ・ 中長期にわたって事業を継続・展開することで、日本語教育のグローバルネットワークを構築する。

◆ 事業構造

本事業は、日本の児童・生徒と海外で日本語を学ぶ児童・生徒との交流を、一定のサイクルで実施。それに先立ち、海外の日本語授業環境整備のための助成活動、およびウェブサイトの活用と4つのプログラムで展開する構造で日本語のグローバルネットワークを形成していきます。



① 海外教師日本研修プログラム (海外日本語授業環境整備助成)

海外の初・中等教育機関(日本の小・中学校に相当)の日本語教師(日本人を除く)を日本に招待し、授業環境整備に向けた支援を行う。

② 海外児童日本体験プログラム (日本と海外の児童・生徒との異文化交流助成)

海外の初・中等教育機関(日本の小・中学校に相当)で日本語を学ぶ児童・生徒を日本に招待し、学校訪問や文化・社会体験などを通じ、日本語・日本文化への理解と関心の向上を図る。

③ 日本児童海外体験プログラム (日本と海外の児童・生徒との異文化交流助成)

日本の児童・生徒の海外校流を支援することで、同世代の海外の児童生徒と日本語を通じた交流と異文化体験による日本語・日本文化の再確認、および国際人としての自覚醸成を促進する。

④ “HGN” Webプログラム (Webを通じた相互コミュニケーションの推進)

国内外の教師や児童・生徒などに向けたコミュニティサイト。実際に行った交流・体験プログラムの内容紹介、日本語教育や日本文化などについての情報提供、また、交流の場として展開する。